

第3次「山背五里五里のまち 創生総合戦略」（原案）に対するパブリックコメントについて

No.	項目	意見の要旨	意見に対する考え方	対応	意見区分
1	基本目標3 ゆったり住めるまち	城陽市の災害対策の積極性が伝わってこないため、不安を感じる。 現在のアクションプランに記載されている主な取組・施策の2点（自主防災組織の育成・支援、要配慮者の避難支援）では「市民が安心・安全に暮らせるまちづくり」というには足りない。 以下、具体例。 ・危機・防災対策係の人員が減っているとのことで不安である。市民の安心のために、人員を手厚くすることを目標にすべき。 ・水道について、災害時のリスクを考え、自己水の保全の項目を入れてみてはどうか。また、ウォーターPPP導入による包括的民間委託により、地下水が蔑ろにされる不安がある。また、民間委託による職員の削減がないよう災害復旧ができる職員確保の目標を掲げるとよい。 ・体育館への空調設備が不十分で、避難環境の改善が必要。スフィア基準の導入を目指すべき。	本計画の主な取組・施策につきましては、地方創生に寄与する全ての取組・施策を記載することが困難であることから、例示として記載しているところです。 記載取組以外にも、各所管課で策定しております分野ごとの計画に基づき各取組・施策を進めてまいります。 職員体制については、定員管理計画に基づき、業務量を踏まえて体制を整えています。また、体育館における空調設備については、現在検討中の状況であり、いただいたご意見は、今後取組を進める「市民が安心・安全に暮らせるまちづくり」の参考とさせていただきます。	原案のとおり	市民